

船橋の史跡

下野牧二和野馬土手

野馬土手は、江戸時代に幕府が設置した馬の放牧場にかかわる史跡です。

千葉県北部に広がる下総台地には、小金牧(五つの牧場の総称)、佐倉牧(七つの牧場の総称)と呼ばれていた広大な馬の放牧場がありました。市域の一部は、小金牧の一つである下野牧にあたります。下野牧全体は、現在の千葉市花見川団地付近から船橋市咲が丘まで、ちょうど船橋市中央部を横断するように続く牧でした(下図参照)。

牧には、放し飼いの馬である「野馬」がおり、馬が外へ出ないように牧と村との境には「野馬除土手」が築かれました。

また、野馬を定期的に捕獲するため、牧を区切り、馬を追込む「勢子土手」なども設けられました。特に、二和の野馬土手は、市内にあるものの中で、最も保存状態が良い勢子土手です。

寛政期(1789~1800年)には、牧の周りに築かれた野馬除土手は総延長約35.4km、勢子土手は約7.3kmもありました。なかでも、二和小学校南側の野馬土手は東西一直線に約490mあり、約200年の時を経て現在も残っています。平成29年には、その一部が市指定文化財(史跡)になりました。



二和小学校南側の野馬土手

(案内) JR船橋駅から三咲駅経由鎌ヶ谷大仏・小室行きバスで二和小学校下車 徒歩約3分 新京成電鉄滝不動駅下車 徒歩約10分



文化財説明板と野馬土手

令和元年度 文部科学大臣優秀教職員表彰受賞者 表彰式：東京大学・安田講堂 (令和2年1月14日)

全国の教職員で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を挙げたとして、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞された方々を紹介いたします。今年度、船橋市からは2名が受賞されました。(敬称略)



小室小学校 教諭 三浦 順子 (小中一貫教育の推進)



習志野台中学校 教諭 平石 弘 (通級指導の推進)

わが校の給食自慢レシピ 高郷小学校編 『小松菜のキッシュ』

食材の産地は、各学校のウェブサイト毎日公表しています。



レシピ紹介

キッシュはフランスのアルザス=ロレーヌ地方に伝わる家庭料理です。パイ生地やタルト生地に、ベーコンや野菜、チーズを加えた卵液を入れて作ります。給食ではパイ生地を使って焼くことが難しいため、餃子の皮をパイ生地の代わりにして作りました。

小松菜は成長期に欠かせないカルシウムや、毎日の食事で不足しやすい鉄分を多く含みます。和え物や汁物に使うこと多い野菜ですが、給食では食への興味関心が高められるよう、様々な料理で提供しています。

材料(4人分)

- 小松菜(茹でて2cm幅に切る) 80g(1/3束)
玉葱(0.5mm幅スライス) 100g(1/2個)
マッシュルーム 10g
トマト 20g(1/6切)
(湯剥きして1cm角切り)
ベーコン(千切り) 20g
卵 3個
ピザ用チーズ 20g
オリーブ油 小さじ1
塩 小さじ1/4(1.5g)
こしょう 少々
豆乳 50g
バター 10g
生クリーム 10g
餃子の皮 4枚(大判)
アルミカップ 4枚(餃子の皮ののる大きさのもの)

- 小松菜、チーズ、生クリームを順に加え、塩、こしょうをふって味をととのえて卵液を作る。
アルミカップに餃子の皮を敷き、卵液を流す。
170℃のオーブンで15分焼く。



小松菜のキッシュ

- 作り方
オーブンを170℃に温めておく。
フライパンにオリーブ油を熱し、ベーコンを炒める。
Aを加えて炒め、卵、豆乳、バターを加える。



- オレンジ フレンチサラダ 小松菜のキッシュ 牛乳
ガーリックライス オニオンスープ

高郷小学校 栄養教諭 吉田由佳理

ひきこもりのお子様のことでお悩みの方は、〈ふれあい「夢のふなっこ」〉にご連絡ください。 ☎047-434-6811 火曜日～金曜日 10時～15時

教育情報誌 まなびの風 船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

地域ぐるみの学校支援 地域との連携 学校、家庭、地域の連携を強化し、地域の子供を地域で守り育てる

船橋市教育委員会では、平成21・22年度に文部科学省の委託事業として実施した学校支援地域本部事業を、「船橋の教育」の基本方針の一つである「地域の教育力向上」に位置付け、市の事業として継続して取り組んでいます。学校、家庭、地域の連携を強化し、地域の子供を地域で守り育てる体制の構築を推進し、令和元年度現在、16中学校区(船橋中、湊中、宮本中、若松中、海神中、行田中、御滝中、金杉台中、飯山満中、七林中、三田中、三山中、習志野台中、古和釜中、大穴中、小室中)で行っており、今後、ほかの地域でも順次行っていく予定です。本号では、その中から宮本中学校区を紹介します。

期待できる4つの効果

- ①教育活動の充実や教員が子供と向き合う時間を拡充する。
②子供が地域の大人とふれあう機会や多様な経験をする機会を拡充し、子供の生きる力の育成につなげる。
③地域住民の経験や学習の成果を活用できる場になり、「生涯学習社会」の実現に資する。
④地域ぐるみで子供を育てる環境が整備され、地域の絆が強まり、地域の活性化に資する。

学校支援地域本部事業とは、これまでそれぞれの学校で行われてきたボランティア活動を組織的なものとする事で、地域全体で学校を支援していく体制づくりを推進し、より効果的に学校の支援を図ろうとするものです。

宮本中学校区 学校支援地域本部事業 宮本中学校 宮本小学校 峰台小学校 市場小学校

テーマ 地域とともに歴史を刻み、地域で支える思いやりのある町作りを目指す「宮本地域支援活動」

学校支援活動紹介: 宮本中学校(祭りのパトロールやクリスマス会の開催), 宮本小学校(流しそうめん会の企画と開催), 峰台小学校(流しそうめん会の企画と開催), 市場小学校(サツマイモ畑の草取りや耕し)



学校支援活動 部活動補助 等 学校支援ボランティア 環境整備 登下校安全確保 学校行事の開催 等

学校支援活動に参加する意欲のある地域住民が協力 協力 学校教育活動を支援するため、地域の方が学校支援ボランティアに参加しています。

地域住民

船橋市の特別支援教育 ～共生社会の形成に向けて～

船橋市では、特別な支援を要する子供たち一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育を推進しています。

連続性のある多様な学び場と支援の充実

特別支援学級 少人数の学級で一人一人に応じた教育を行っています。

小学校 27 校・中学校 15 校に設置
対象：知的障害、自閉症・情緒障害、難聴（小学校のみ）



特別支援学校 障害に応じた教育を行っています。小学部・中学部・高等部があります。

市立船橋特別支援学校〔高根台校舎小学部・金堀校舎中学・高等部〕



県立船橋特別支援学校〔小学部〕 県立船橋夏見特別支援学校〔中学・高等部〕



通級指導教室

通常の学級に在籍する子供を対象に障害の状態に応じた指導を週1回程度行っています。
発達障害〔船橋小・三咲小・行田西小・芝山東小・薬円台小・船橋中・葛飾中・習志野台中〕
言語障害〔船橋小・行田東小・二宮小・高根台第三小・習志野台第一小〕



県立特別支援学校における「通級による指導」

県立船橋特別支援学校、県立船橋夏見特別支援学校から教員を派遣して、障害の状態に応じた特別の指導を行っています。（通級による指導のサテライト教室）
対象：聴覚障害（船橋中）
視覚障害（高根東小）
肢体不自由（在籍校）

通常の学級 在籍している子供の教育的ニーズを把握し、適切な指導・支援を行っています。

学校全体で取り組む特別支援教育

支援体制の充実

各学校では、校内委員会の設置や個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成など、保護者や関係機関と連携を進めています。本人や保護者と一緒に「合理的配慮」の提供に向けて、話し合いを進めていきます。また、学生ボランティアや市民ボランティアを派遣し、学校の支援体制の充実を図っています。

幼児期から学校卒業後までの一貫した支援体制づくり

小学校・中学校・高等学校への進学にあたり、円滑に学校生活を送ることができるようにするため、「引継ぎのための連絡票」の作成を進めています。

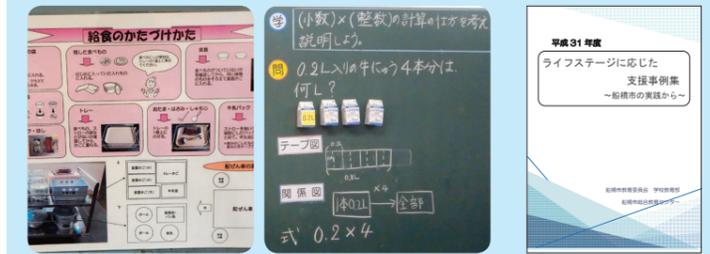
教職員の特別支援教育に関する指導力の向上

特別支援教育コーディネーター研修の実施や特別支援教育に関する研修の充実を図っています。

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた

「わかりやすい授業づくり・環境づくり」の推進

特別な教育的ニーズのある子供に必要なであり、その支援を行うことのできる子供にとっても、より「わかる」「できる」につながるという見方を、ユニバーサルデザインの視点として考えています。幼児期から就労後までの一貫した支援の継続やユニバーサルデザインの視点に基づいた学校づくりなど、「ライフステージに応じた支援事例集」を作成し、学校での支援に役立てています。（総合教育センターのホームページに掲載）



給食の片付け方を視覚的にわかりやすくする。 具体物を使用することで、理解しやすくなり興味をもちやすくなります。 総合教育センター教育支援室ホームページに掲載しています。

障害のある児童生徒との交流及び共同学習

障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学び、共生社会の形成につなげることを目指します。



特別支援教育振興大会

特別支援教育の理解を深めるために、教育講演会（8月下旬）や市立小・中学校特別支援学級、特別支援学校の子供による合同発表会（各ブロック12月～2月）や合同作品展（2月）を行っています。



早期からの教育相談と支援体制の充実

就学相談

こども発達相談センター等の療育施設と連携を図りながら、就学相談会、就学指導委員会を開催し、適切な教育を受けられるよう援助します。「保健・保育・療育・教育に関わる職員のための相談ガイドブック」を総合教育センターのホームページに掲載しています。

教育相談

特別な教育的ニーズのある子供や保護者、学校への支援を行うため、総合教育センターに臨床心理士を配置するとともに、専門家チーム会議の開催、巡回相談員の派遣等、教育相談体制の充実を図っています。

<総合教育センター 教育支援室ホームページ>

<https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0002/0001/0011/inter.html>

